

【第80期】
第2四半期報告書

2018年4月1日～2018年9月30日

STARZEN REPORT

スターゼンレポート

食を通して人を幸せにする
グローバルな生活関連企業を目指す

目次

株主の皆様へ	P.1
スターゼングループ70周年	P.2
2019年3月期 4月～10月の取り組み	P.3
会社情報	P.5
株式情報	P.6
お知らせ	P.7

一層の販売力強化に取り組みました。



株主の皆様には、日頃より格別のご支援ならびにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。今後も、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期概況について

当第2四半期の食肉業界は、消費者の低価格志向などにより比較的安価な輸入食肉の需要が高まる傾向にありました。一方で輸入食肉は販売競争の激化など、利益面での厳しい状況に加え、人手不足による人件費や物流費の上昇が重なり、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは、当期より2021年3月期を最終年度とする3か年の新中期経営計画を開始しました。「総合食肉加工メーカーへの挑戦」「業務プロセス改革によるグループ競争力強化」「コーポレート機能強化」の3つを基本戦略に、さらなる成長への布石を打ち始め、当第2四半期における売上高は1,740億70百万円(前年同期比5.1%増)と増収となりました。(具体的な取り組みについては、P.3-4をご覧ください。)一方、利益面については調達コスト高や国内販売競争の激化などによる売上総利益率の低下、さらには人件費および物流費の増加により、営業利益は20億29百万円(前年同期比30.3%減)、経常利益は27億82百万円(前年同期比24.4%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記のほか、自然災害の影響もあり、18億38百万円(前年同期比27.8%減)となりました。

2018年11月
代表取締役会長兼社長

中津濱 健

スターゼングループは 70周年を迎えました

創業以来、変わりゆく市場環境や消費者ニーズに応え続け、
着実な成長を遂げてきました。



創成期

1948年～1954年

成長期

1955年～1971年

発展期

1972年～1995年

さらなる拡大に向けて

1996年以降

沿革ハイライト

1948年

全国畜産(株)設立。
役牛の売買を行う

1949年

食肉の取り扱い開始

1955年

オーストラリアより初めて冷凍
牛肉を試験輸入

1958年

日本初となる冷蔵トラックに
よる豚枝肉輸送

1972年

日本マクドナルド(株)と取引
契約、日本初の100%ビーフ
パティ工場を開設

1977年

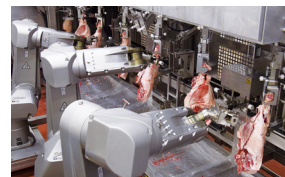
東京証券取引所市場
第一部へ上場

2004年

流通業では国内初となる
SQFの認証をいわき営業所
で取得

2017年

国内初となる豚もも部位
自動除骨ロボット
「ハムダス-RX」を導入



2019年3月期 4月～10月の取り組み

さらなる拡大に向けて

製造

業務用市場への拡大を図るべく、販売量および商品数を増やしています。

調達

自社農場からの調達量の拡大を目指しています。

IR活動

コーポレート機能強化の一環として、IR活動をより積極的に行っています。

機械化・省人化

国内労働人口の減少への対応と、コスト削減に取り組んでいます。

製造

ローマイヤ栃木工場にて
「加圧加熱商品生産装置」
稼働開始

5月

加圧加熱商品生産装置は、プレックド商品(加圧真空調理品・レトルト商品)や煮豚・角煮の製造をするための機械です。柔らかい食感の商品を製造できるのが特徴で、新商品の開発を進めていきます。



IR活動

機関投資家・アナリスト向け
会社説明会の開催

5月

当社初めてとなる、機関投資家やアナリストの皆様に向けた会社説明会を開催しました。会社の基本情報や事業内容の紹介、将来に向けた施策などを説明しました。



調達

「浜中黒牛」ブランドの
初出荷

8月

自社農場からの調達を増やすため、肥育事業にも取り組んでいます。「北海道はまなか肉牛牧場」では、2017年5月に肥育素牛を受け入れ、2018年8月に「浜中黒牛」ブランドとして初出荷しました。



「100年企業」を目指し、 「総合食肉加工メーカー」への進化

食肉およびその周辺領域を事業ドメインとして、
グローバルな「総合食肉加工メーカー」への進化を図っていきます。



製造

本宮工場の
稼働開始

10月

焼成ハンバーグに特化した、本宮工場（福島県）を稼働開始しました。新設の食肉製品製造工場としては1988年3月以来で、最新鋭の機械・設備を導入し、月350tの生産が可能です。効率化、省人化の実現を通して「総合食肉加工メーカー」への進化を図っていきます。



IR活動

アニュアルレポートの
発行

10月

従来のアニュアルレポートを大幅に刷新しました。当社の経営ビジョンや理念、事業の詳細、経営体制などを掲載していますので、ぜひご覧ください。



<https://www.starzen.co.jp/ir/library/annual.html>



機械化・省人化

三沢 ポークセンターにて
ワンダス本格導入

10月

国内初となる豚肩甲骨・上腕骨除骨ロボット「ワンダスミニ マークII」を本格導入しました。試験導入では処理効率の向上、従業員の負担の大幅軽減だけでなく、歩留まりの改善も見られました。また、除骨作業においてまな板を使用しないため、衛生面も向上しました。



会社情報

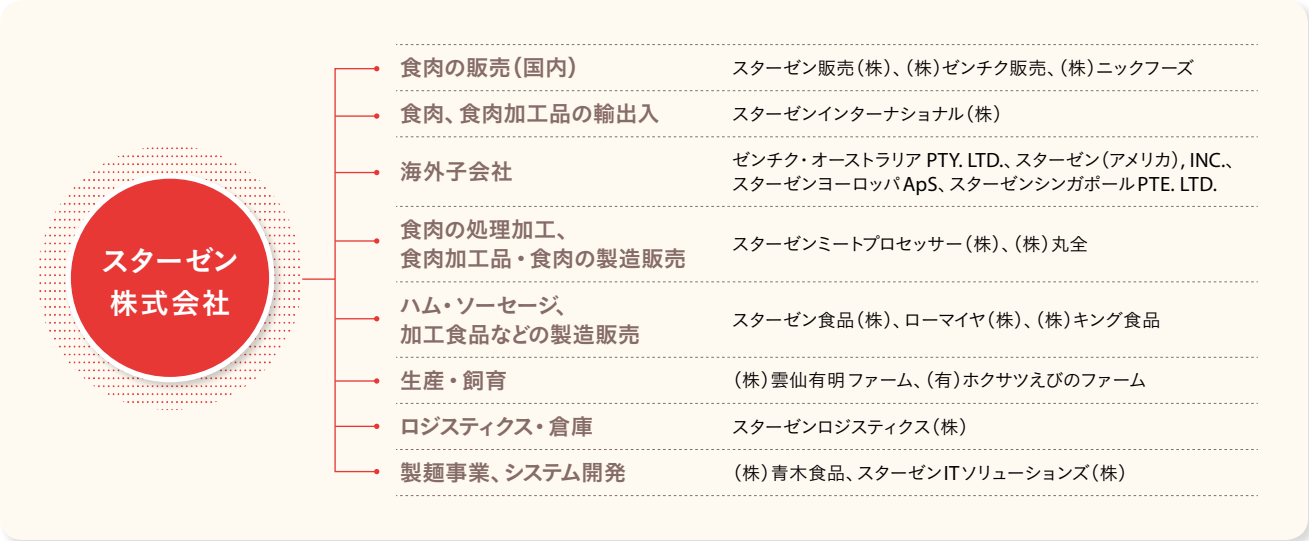
● 会社情報 (2018年3月31日現在)

設立	1948年6月17日
本社	〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号
資本金	111億3,677万円
主な事業内容	1. 食肉の加工および販売 2. 畜産物の生産、加工および売買 3. 食肉および畜産物の輸出入 4. 食品の製造、加工および売買
主な販売先	スーパーマーケット、食肉専門店、百貨店、 外食産業、コンビニエンスストア、生協、 食品加工メーカー、食肉卸売業、その他
従業員数	3,498名(連結ベース)

● 役員 (2018年9月30日現在)

代表取締役会長兼社長	中津瀧 健
代表取締役副社長	永野 章
代表取締役専務	寺師 孝一
常務取締役	茂原 馨
常務取締役	横田 和彦
取締役	入江 泰明
取締役	鵜橋 正雄
取締役	林 育司
取締役(社外)	大原 亘
取締役(社外)	藤原 功
取締役(非常勤)	長谷部 元靖
監査役(常勤)	中井 俊夫
社外監査役(常勤)	北條 秀樹
社外監査役	山本 麻記子
社外監査役	小越 信吾

● 主要グループ会社 (2018年9月30日現在)

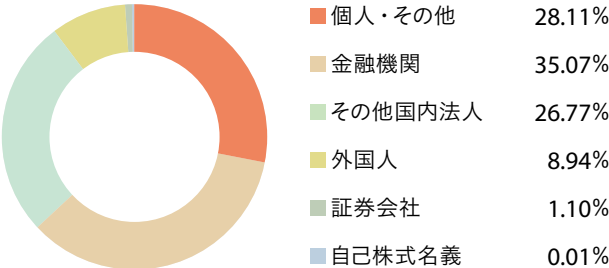


株式情報

株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	22,000,000株
発行済株式の総数	9,740,971株
株主数	14,292名

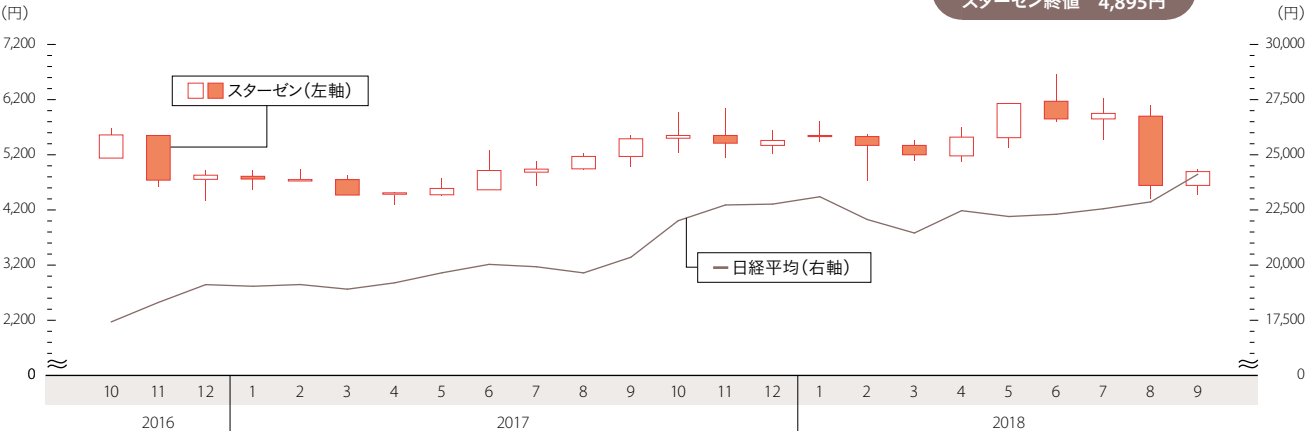
所有者別株式分布状況



大株主の状況 (2018年9月30日現在)

名称	所有株式数 (千株)	割合 (%)
三井物産株式会社	1,554	15.96
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	359	3.69
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	357	3.67
株式会社三井住友銀行	324	3.33
農林中央金庫	304	3.12
株式会社三菱UFJ銀行	279	2.87
株式会社鷗橋興産	234	2.41
スターゼン社員持株会	231	2.37
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口9)	185	1.90
株式会社みずほ銀行	160	1.64

株価の推移



お知らせ

○ ホームページのご案内

当社の最新のIR情報をはじめ各種IR資料などオリジナルのコンテンツを豊富にそろえています。ぜひ当社ホームページをご活用ください。



<https://www.starzen.co.jp>

○ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
公告方法	電子公告 https://www.starzen.co.jp/ir/koukoku.html
単元株式数	100株(2018年9月30日現在)
株式名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株主優待

日頃からご支援いただいている株主の皆様には感謝の気持ちを込めまして、株主優待を所有株式数に応じ次の通り進呈いたします。

※株主優待の内容は予告なく変更する場合がございます。



贈呈

自社グループ製品
(3月のみ)



100株以上

ハム類詰合せ
(3,000円相当)



500株以上

ハム類詰合せ
(5,000円相当)



1,000株以上

国産和牛ステーキ肉
(10,000円相当)



サービス

100株以上

歳暮ギフト(9月)、中元ギフト(3月)を通常販売
価格の20%割引(送料無料)にてご案内

100株以上

「ローマイヤおせち」の割引販売(数量限定)
20%割引(送料無料、9月のみ)にてご案内



Printed in Japan

スターゼン株式会社

〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号 電話：03-3471-5521